

第7日

令和3年12月6日（月）

午前10時零分開議

○議長（半田雄三君） これより本日の会議を開きます。

なお、本日の出席議員は18名で、会議は成立いたします。

本日の議事日程については、お手元のタブレットに掲載のとおりであります。御了承願います。

日程に従い、3日に引き続き一般質問を行います。

それでは、4番熊本正博議員の質問を許可します。4番熊本正博議員。

（4番熊本正博君登壇）

○4番（熊本正博君） 皆さん、おはようございます。4番熊本正博でございます。今日傍聴におみえの皆さん、それから、インターネットで傍聴されている皆さん、お忙しいところ誠にありがとうございます。

さて、紅葉の時期も終わりました。私は、今年は紅葉をよく見にいきましたが、その中でもよかったのが、英彦山の紅葉とか、それから、久山の吞山観音の紅葉、それから、基山の大興善寺の紅葉、それから、広川町のイチョウの紅葉がよかったと思います。特に、広川町のイチョウの紅葉は、お客さんもいっぱいおみえになっちゃつとぼってんが、昔、先人の方がここにイチョウをいっぱい植えて、そして、大きくなって、将来、ここが町おこしの地域になればいいなということで、そのときに植えてあったそうです。本当、今、先人の方のおかげで、きれいな真っ黄い黄いイチョウが咲いていましたというか、落ちていたところは絨毯のようにイチョウになってとてもきれいなとこでしたんで、ああこういうのがいいんだと、そう思っておりました。駐車場側にも、やっぱり町の職員の方の駐車場の整理をしてありましたけど、本当にたくさんの方がおみえになっておりました。

それから、朝倉市のほうに帰ってまいりましたら、ちょうど来春の小川タイヤぐらいのところまで来たんです。そしたら、ぼっと見たらポプラの並木です。ポプラが入り口に植えちゃって、これ見て、ああこれきれいやんと思ながら、ずっとそのカーブして、ポプラの並木をこう見ていきよつたとぼってん、そしたら、ちょうど想夫恋の焼きそばがある、もう堤に入るところ辺になるとですけど、真っすぐ何百メートルか真っすぐです。そして、ポプラの並木が両側に真っ赤になって見えるわけです。そして、真正面見ると大平山があつち。えらい光景のこげなとこが朝倉市にもあるたいち。よそばっかり見てきよつたけど、これはもう灯台下暗しで、本当は朝倉市のほうが一番ええやんなち、そういうふうに思って帰ってきました。本当にきれいかったです。皆さんも見られましたですか、紅葉は。本当きれいだと私は思います。

思ったのではいいんですけど、下をこう見ていきよつたら、やっぱりポプラの葉っぱがいっぱい両側落ちているわけです、側溝やら歩道のとこに、それから、民家の中やらまで、

ああこれはきれいばってんが、これを片づける人は大変やなど、そういう気持ちになりました。自分たちはきれいなでこう通っていけばええとやろうけど、下見りゃ片づけるのは誰が片づけるとなち、そういう気持ちでおりまして、それから、また、今度はけやき通りのほうに入ってきましたら、またけやき通りのほうで、ちょうどたまたまけやき通りの掃除を、菩提寺の役員の方がしてあったんです。一生懸命はわいてありましたけど、ああこれも大変やな、ごみ袋にいっぱいやらにゃいけんやとやろうなち、朝倉市が出してやらんといかんなど、そういう思いでおりまして、ケヤキも夏はえらいきれいですけど、葉っぱが落ちてしもうたら、もうこれは地域の人たちは本当に大変やなど。それが、私たちは思いには、私はこれはボランティアと、ボランティアの人が大変やなど思いまして、それを、柴山議員のほうにちょっと、あすこ堤、ポプラきれいなち言うたら、柴山議員のほうが、この前、日曜日は掃除をみんなでしたったいち、ああそれですかちいうたら、200人も来るたい200人もち。ええ200人も来たとですかち。そやけえ200人も来たけえ1時間で終わったち、こげえなふうやったんです。本当、住民の人というか、地域の方々が、そういう協力があつて朝倉市が成り立っているんだなど、そういうふうにして感心をしたところなんです。

やっぱり朝倉市も、こういうポプラの並木やは、皆さんのほかの地域の方にやっぱりいろんなものでアピールをするべきではないかなと、そういうふうにして、最後に言わせていただきます。朝倉市のポプラの紅葉、見にいこうよ。どうも、すみません。失礼しました。ということで、質問席のほうに帰らせていただいて、いっぱい質問をさせていただきたいと思っております。執行部の皆さんにおかれましては、簡潔にお答えを頂きたいと思っております。よろしくお願ひします。

(4番熊本正博君降壇)

○議長(半田雄三君) 4番熊本議員。

○4番(熊本正博君) それでは、通告書に従いまして、一般質問をさせていただきます。

朝倉市の行政諸問題について、まず、コウモリ被害の対応についてでございます。

朝倉市におけるコウモリ被害の実態をどのように把握されているかということで、甘木公園近辺でコウモリが大量に発生したということ、前の一般質問の壇上でお話をさせていただいたことがあります、そのときは、都市計画課にお頼みしましたが、都市計画課の職員の方、課長も含めて、皆さん1週間ぐらい、大平山のとこ辺から、公園の隅々まで探していただきましたけど、コウモリの巣は見つからなかったということでもございました。やっぱり小さいんで、おるとやろうと思うけど、やっぱり見つけ切らんとやろうと思ひます。そういうことで、巣は見つかりませんでした、その後、私のところに、割と多くの方々から、そのコウモリの被害の実態の訴えがたくさん来ておりました。もうコウモリのふんがあつて、怖いとか、そういうふうなことがありました。

ここで話すコウモリというのは、アブラコウモリというコウモリで、普通皆さん方はイ

エコモリと言っている種類のものであります。

そこでお聞きます。朝倉市におけるコウモリ被害の実態をどのように把握されているかお答えください。

○議長（半田雄三君） 市民環境部長。

○市民環境部長（中山貴可君） それでは、コウモリ被害の状況把握についてでございますが、先日、議員から御連絡を頂きまして、菩提寺地区、それから、恵比須町地区へ職員が出向きまして、コウモリ被害の建物の現場を初めて確認をさせていただいております。併せまして、それ以前の市内の建物の被害状況につきましては、市民からの問合せとか相談等の確認に関する記録がなく、現在、コウモリ被害の把握はできていない状況でございます。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 今、部長言われたのは、県にお願いをして、現地調査をしていたときに、県の農山村振興課地域振興係からの連絡があつて同行された後の話ですよ。分かりました。

ここで、朝倉市の窓口ということで、コウモリ被害の話から質問がちょっとそらさせていただきます。すみませんがお聞きください。

朝倉市の窓口、これは住民のニーズや朝倉市の抱えている課題にマッチしていないのではないかなど、私は思っております。例えば、県内のほかの自治体では、観光や農作物の促進のために、特別に対応する窓口を設置してありますといった話が聞こえてくるわけです。この辺では、うきは市とかですけど、窓口設置対応がきちんとされてありますので、特に道の駅などの成果も上がっているようでございます。コロナ対策に関しても、それ以外についても、どこかしら一本化した窓口が設置をされていると思います。それがニュースやらになっていると思いますが、これは、新聞やテレビが宣言してくれているのでということですから、非常にうらやましいことではないかなと思っております。

話は、すみません、またまたそれてしまいますが、通告した内容ではございませんので、答えられる方があれば答えていただければと思っております。例えば、平成31年の3月末で、朝倉市の外国人登録者の数はどのくらいあるのかお答え願いますでしょうか。どなたでも分かる方で結構です。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 平成31年3月末現在で外国人の登録者数は、666人と記憶しております。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 今言われたのは、恐らく人口ビジョンの中からの部長の答えだったのかなとは、答えていただいて出るかなと心配しておりました。言っていないでしかから、ありがとうございます。

そうすると、この朝倉市で働く、または暮らしている外国人の方々に窓口はどこでしょうか、教えてください。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） すみません、現在のところ市のほうにはありません。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 今、総務部長が言われたように、外国人の登録数は分かりませんが、窓口というのはないのが答えだと私も思っております。朝倉市の人口の1.25%に達する人たちの窓口、何とか言葉が通じるとか、ある程度のことに答えられる準備があるとか、せめてトップ3の中国語、タカログ語、ベトナム語に対応した生活のためのパンフレットが整備をしてあるとか、そのような対応をされています。どうですかお尋ねいたします。

○議長（半田雄三君） 市民環境部長。

○市民環境部長（中山貴可君） 議員御質問の外国人登録者数が666名ということで、まず市民課のほうにその登録のほうはいらっしゃるわけでございますけれども、その中におきまして、そういった外国人に対するチラシ、御案内のためのチラシ、パンフレット、そういった物につきましては、現在のところ整備していない状況でございます。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 今言われるのは本当だと思います。今から私はそれをちょっと指摘させてもらいたかったから質問をしました。本当にすみません。3つとも答えていただきありがとうございます。

そういうことを含めて、やはりただつなぎの役目を果たすのではなくて、きちんとした窓口を決めていく必要があるんじゃないかと思います。それは、うちの部署ではありませんから、どこどこを訪ねてくださいみたいな対応、それがまずいと感じたから、今のよう、ワンストップ窓口サービスを整備されたのではないかと思っております。外国の方に対応する窓口を設置されていたら、きっとこれもニュースになると思います。そうすると、外国籍の方だけではなく、市内、市外の方にも認識され、朝倉市は誰にでもしっかりした対応をしているなという評価につながると思っております。

こういった窓口設置をすべき部署があると思いき、コウモリの話をしたんですが、これは窓口の関係で関連で話をさせていただきました。要は一本化した窓口が必要と言いたかったわけです。

話を元に戻させていただきます。朝倉市にコウモリの対応窓口がないのはなぜか。以前、コウモリ被害の現地調査で対応窓口がどの部署か分からないということで、県に呼ばれたのが農林課と、それから、環境課でありました。県から指摘を受けて動くのではなく、最初から2つの部署が組織全体の問題として、対応部署を話し合っ、その上で対応できていけばよかつたんじゃないかなと思っております。

そこで本題ですが、朝倉市にコウモリ被害の対応窓口がないのはなぜなのでしょう。窓

口が2つあるようで一つもないのです。市内で起きている問題に対応する窓口がない。もしかして、その後設置をされたかもしれないんですが、それでも結構なんでお答えをお願いいたします。

○議長（半田雄三君） 市民環境部長。

○市民環境部長（中山貴可君） まずコウモリ被害、どういったコウモリ被害があるのかということにつきましては、専門的な部分もございますので、詳細はつかんでおりませんが、主に建物への侵入によるものや、ふん尿等を要因とした被害が多いのではないかと認識しております。

そういった生活環境面が主になると思われますので、最初の相談、問合せ窓口としては環境課で今後行っていきたくております。

ただし、その対応といたしましては、スズメバチの駆除と同様にコウモリの駆除、追い払いにつきましては、環境課から専門業者の紹介を行いますので、個人で連絡していただき、駆除していただく形になろうかと思えます。また、コウモリの捕獲につきましては、これは有害鳥獣ではございませんので、県の許可が必要となります。県は農林事務所のほうになりますけれども、捕獲につきましては、市のほうも農林課になりますので、その辺は連携しながら情報共有し、取り組んでいきたいというふうに考えております。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 部長、環境課でやっていただけるんですね。きちんとした窓口ができたのでよかったです。本当に安心しました。

ある女性の方から言われました。私は独り暮らしです。9月頃に夕方コウモリが家の中に入ってきて飛び回っています。明るく日その女性は市役所に電話をしたそうです。交換の方がどこにつながれたかは分かりませんでした。対応は、市では対応方法がありません。コウモリが来なくなる対策を取ってくださいでした。コウモリも怖いんですけど、朝倉市の対応は、窓口も分からずもっと怖い、冷たいというふうなことを言われておりました。でも、窓口ができたので、そういう苦情が出なくなるかなと思っております。

どこに相談したらよいのか分からず不安を抱えている市民のためにも、コウモリの対策窓口ができたということであれば、ぜひ広く知らせていただきたいなと思えます。よろしくをお願いします。

また、中野前副市長が、朝倉市はアピールが下手だとおっしゃっていましたが、まさにアピールチャンス、コウモリ対策窓口は、どこにでもある窓口ではないので、これは、よいアピールになるのではないのでしょうか。

それから、これは報告ですけど、コウモリ被害地域の菩提寺、それから、恵比須町では、コウモリの住民被害調査が終わりました。これは回覧板でコウモリ被害があったかなかったですかというふうなことを各組から回していただいて、その被害を名前を書いていただいております。その中には、家の中に侵入してくるとか、屋根の裏にいつの間にか棲みつ

いていたとか、シャッターの袋の中に棲みついているなんて話があります。菩提寺、恵比須町合わせて約、今のところ100世帯ぐらい報告がっております。コウモリが棲んでいることにまだ気づいていない住民の方もあってございます。ベランダや窓際などに大量のふんも確認をされています。私も現地調査を一緒に行きまして、自分の目で確認をさせていただいて話をしているところです。

何で熊本がこのコウモリの話ばかりするとやろうかち、こう言われますが、たかがコウモリ、されどコウモリなんです。例えば、コロナウイルス感染症は、コウモリが媒介するという話もあります。専門家の方とお話をしたことがあるんですけど、移動距離が長いのは、人間とコウモリだそうです。コウモリは、数あるウイルスの運び屋とも言われているそうです。やっぱりそういう話を聞いたら、住民は怖いんです。

これからの時期は、コウモリが寒いもんけん山から下りてきて、民家のほうに下りてきて、そこに棲みつくとというようなことになるようです。害がなければいいんですけど、それも証明することはできません。市民の皆さんが安心安全にこの朝倉市で暮らしていけるようしっかりと対応をお願いいたしまして、次の質問に入りたいと思います。よろしく願いいたします。

次に、防災ボランティア団体の活動支援についてです。

質問に入る前に申し上げます。この質問は防災ボランティアの方々から言うてくれと言われて話をするものでありません。私がこの防災ボランティアの団体の活動もやっておりますので、実際に自分が体験したこと、それから、見学をしたこと、これで思ったのは、これじゃあ行政はいけないなと思ひまして、質問を考えさせていただきました。私はボランティアとは、心と体を社会事業に参加し、奉仕活動をするものであると考えています。市内の活動している防災ボランティア団体の数や活動目的は、どの部署が把握、対応しているか。

そこでお聞きします。市内で活動している防災ボランティア数や、活動目的把握、対応している部署はどこでしょうか、お尋ねします。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 朝倉市ボランティア連絡協議会に登録してあるボランティア団体や被災時に協力頂いているボランティア団体につきましては、朝倉市社会福祉協議会との連携によりまして、ふるさと課のほうで情報を把握しております。防災ボランティアに関しては、平成29年災害時、協力体制にあった団体は38団体ありました。このうち現在も協力体制にある団体は5団体あります。また、個人の防災ボランティアは10名となっております。以上です。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） これはふるさと課が情報を把握しているのですね。分かりました。それでは、市内の防災ボランティア団体の数を把握する制度はありますか、お尋ねしま

す。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 市や社会福祉協議会において、平常時に防災ボランティア団体を登録する制度はありませんが、被災時において、迅速なボランティア体制の確立及び連携を図ることを目的に、朝倉市、朝倉市社会福祉協議会、JA筑前あさくら、生活協同組合などの関係機関で組織する朝倉情報共有会議を開催し、平常時から意見交換を行っております。また、災害時におきますボランティア活動に関する協力支援体制の構築、災害情報の収集、提供、及び連絡調整を行うために、朝倉青年会議所、社会福祉協議会、朝倉市で三者連絡会議を開催しております。以上です。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 今、部長申されましたが、朝倉情報共有会議を開催していると、平常時から意見交換会を行っていると言われましたが、これにつきましては、今後もどうか続けていっていただきたいな、大事な会議だなど思っておりますのでよろしく願いますし、その前にも言われましたが、災害協力体制のできる災害団体が38団体あったと。それから、現在でも5団体あります。それから、個人の方々も10名ばかり活動してありますということであるので、まだ頼もしいと、そういうふうに思いました。分かりました。

次に、防災ボランティア活動保険について、現在の保険制度はどうなっているのか教えてください。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 災害時のボランティア保険につきましては、ボランティア本人が居住します社会福祉協議会のほうで保険に加入してボランティアに参加していただくのが基本となっております。ただし、非常時に多くのボランティアが参加する場合のボランティアセンターでの受付時では、ボランティアセンターがまとめて加入するようなケースもあります。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 分かりました。次に、防災ボランティア団体への活動を支援する政策にはどのようなものがあるか。そこで改めてお尋ねをいたします。防災ボランティアに対する支援の現状はどうなっていますか、お尋ねします。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 自然災害により個人が被害を受けた場合は、自助努力により復旧することが基本であり、行政による支援には限界があります。市では、できないことを補うために、防災ボランティアに活躍していただいておりますので、防災ボランティアに対する支援が必要であることは認識しております。このようなことから、防災ボランティアが被災者支援を行おうとする際、相談を受ければできる範囲で対応しております。今年の例でいいますと、ブルーシートや土のう、消毒剤などの資材の提供、災害ごみの手数

料の減免、災害土砂の受入れなど、防災ボランティアと話し合っただけで支援を行っているところでございます。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 今まで総務部長にいろいろお答えしていただきましたが、コウモリのことやらもいろいろお答えしていただきましたけど、総務部長、災害はないのが一番だと思います。災害がもし起こったときは、朝倉市はせめて重機の準備とか燃料代ぐらいは支給してやらないと、ボランティア団体の方々はやっておられんです、はっきりいって。部長が言われた重機、ダンプを使った被災者支援は、今までが大体当然やってこにゃいかんやったことだと思いますから、今言われた中で新しい課題と言われても、研究やらでもしていただかんでん、これをもう実施をしていただきたいとお願いしたいと思います。

災害時のときで、毎年支給される話でもないし、私は多額のお金をお願いをしているわけでもございません。今の話を聞いて、ちょっと何かなというふうな回答が不満でございます。

しかし、次の質問に行きます。

防災ボランティア団体の活動支援を充実させるべきではないか。例えば、個人所有の山林が大雨災害で崩壊し、その土砂が民家の小屋を直撃し倒壊したとします。そういった場合、当然、行政はその仲介に入ることはできません。なぜなら、これは民と民ですから、でも、その民家の小屋の所有者がどうしてよいのか分からない。そして、誰と交渉すれば瓦礫とか土砂を撤去してもらえるかも分からないとします。その場合、活動されるのは防災ボランティア団体です。むしろ防災ボランティア団体頼みになってしまうのではないかと思います。

防災ボランティア団体の方とお話をする機会がありました。その方は交通費やショベルカー等の重機に係る経費、その他活動に必要な経費は全て自分たちの手で賄ってあり、やり繰りが非常に大変だそうです。自分の生活もある中で、それでもこつこつと活動をされています。また、市内外で防災ボランティア活動をされている方とお話をしたところ、朝倉市はボランティア団体という活動をはき違えている、団体に丸投げしてほったらかしだ、支援を必要としている人たちに〇〇というボランティア団体がありますから、そちらに相談してくださいみたいな対応をされていると言っていました。

想像してください。一斉清掃とか、それから、道路のごみや、それこそ落ち葉拾い、それから、側溝の泥を集めるだけでなく、それを土捨て場まで自分たちで運んでくださいといったら、何といったら成立すると思いますか。成立するわけはありません。何でそこまでせにゃならんのかなとか、人っ子一人ボランティアは集まらなくなると思います。

ボランティア団体は、何かを頼む存在ではない、お願いをする存在であると思います。お金を渡すべきだという話でもありません。資材の配給や必要な重機を準備する燃料を提供する、また、きちんとした保険の加入が本当の姿だと私は思います。それを全くといっ



ていいほどやっていない。それが恥ずかしながら、あの平成29年の7月、あの大きな災害を経験し、たくさんのボランティアの皆さんに頑張っていたいただいた朝倉市の姿だということになります。

ある防災ボランティア団体が、ある場所でどうしても重機が必要になって、それを賄うお金が全く足りなく困っていたところ、その相談を受けたのが1企業ですが、社会貢献の一環ということで、機械やトラックのリース代、燃料代などを提供していただいたそうがあります。しかし、このようなものは毎回提供していただけるものではありません。当たり前ではないと思います。本来、朝倉市できちんと予算を取って、そうした上で人手が欲しいときにボランティアの皆さんにお願いをする、それが筋ではないでしょうか。

まずは、防災ボランティアは、資材調達が必要なとき、企業や協同組合などから支援を受けています。そのときに、行政から支援を受けているとか、行政に登録、認定されているということであれば、支援を受けやすくなるんじゃないかなと、その認定しているとかいうことで受けやすくなるのではないかと思いますし、朝倉市でできれば支援を、少なくとも登録、認定を制度化してほしいと思います。

そして、市の職員もボランティア団体の取組内容等をしっかりと知っていただいて、自分たちも参加してみようとか、参加は厳しいけど支援に関わってみようという状態を徐々に作り出すことが大事ではないでしょうか。

長々となりましたが、これまで述べましたように、防災ボランティア団体の活動支援を充実させるべきではないかと考えますが、どのように考えておられるかお答えください。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 防災ボランティアとの連携を図るために、平成29年7月九州北部豪雨をきっかけに発足しました朝倉情報共有会議が現在も定期的で開催されておりますが、今後は、防災ボランティア団体と行政がさらに意思疎通を図れるよう、連携が取れる体制を充実させていきたいと考えております。

平常時にお互い言いたいことを言い合える関係になっていくことで、災害が発生したとき、即座に臨機応変な対応が可能になると考えております。また、防災ボランティア団体の被災者支援に対し、民間からの賛同が得られるよう市も協力し、併せてボランティアの登録制度や協定締結などについても研究していきたいと考えております。

市において防災ボランティアによる重機、トラックなどを使って被災者支援を行う取組は新しい取組でありますので、先ほどの保険の質問と同様、新しい課題と認識しまして、先行事例を含め研究していきたいと考えております。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 分かりました。今回は初めてボランティア団体について質問をさせていただきました。執行部の答弁も満足できる回答ではありましたが、防災ボランティア団体活動のこれからの環境整備を執行部に考えていただくきっかけになったなど

思っております。

阪神・淡路大震災や東日本大震災などを受け、国の防災基本計画では、国及び地方公共団体は、社会福祉協議会、NPO、ボランティア等への災害廃棄物の分別、排出方法等に関わる広報、周知を進めることで、防災ボランティア団体活動の環境整備に努めることが定められていますので、執行部、ぜひ前向きに取り組んでいただきたいと思います。

平成29年7月九州北部豪雨災害では、全国から多くの支援を頂きました。また、先ほど答弁があったように、4万5,000人も防災ボランティアが朝倉市の被災地に駆けつけていただきました。それを契機に、市内で生まれた防災ボランティア団体は4年余りで、市内の被災地、いまや市外にまでも被災地支援の輪が広がっています。全国に類を見ない災害を受けた朝倉市だからこそできること、分かること、これからは被災地支援の先進地として、全国に恩返しができるように全国に朝倉市の支援、元気な朝倉市をアピールできるよう大いに期待をしまして、この質問を終わらせていただきます。

次に、スマート自治体の業務のスリム化についてです。スマート自治体の取組について。スマート自治体とはどういうものか御存じですか、お尋ねします。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 高齢者人口がピークを迎えます2040年頃をターゲットに人口構造の変化に対応した自治体行政の在り方について、総務省のほうで令和元年5月に、地方自治体における業務プロセス、システムの標準化及びAIロボティックスの活用に関する研究報告書、スマート自治体研究会報告書の中で、スマート自治体の定義について示しております。

その報告書の中でスマート自治体とは、AI（人工知能）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）のようなソフトウェアロボットなどの技術を駆使して典型的な業務を自動化したり、共通基盤を用いて効率的にサービスを提供することを可能とした自治体とされております。

もう少し簡単に説明しますと、パソコンにインストールされたソフトやロボットが、ファイルから特定のデータを抽出したり、データをシステムに入力したりといった定型的な業務を自動的に実行することで、職員が単純作業にかかわらず、他の業務に従事できるようになるというものでございます。以上です。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 私が思った以上に詳細に説明をしていただいております。ありがとうございました。

私の知り合いにそういったことを専門的にやっている人がいまして、いろいろな話を耳にしたんですが、既に幾つもの自治体が試験的に取り組み、そのうち本格的運用にこぎつけているところもあると言われていました。朝倉市ではどのように取組が進められていますか、教えてください。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 市の取組ですけれども、RPAやAIなどのICT事業事例について御報告させていただきます。

令和2年度に特別定額給付金交付事務におきまして、職員が手作業でシステム入力する作業の一部について、AIのシステムを活用したところ約666時間を要する作業時間が144時間に短縮され、事務の効率化と人件費を削減することができております。今年度に入ってから、窓口の部署を中心にヒアリングを行い、対象業務の洗い出しを行っております。一部の業務については、RPAやAIを利用できるか検証作業を行っているところでございます。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 人口ビジョンには何も手を打たなければ、今から30年後、朝倉市の人口が2万5,000人に限りなく近づいていくと書かれておりました。何かしらの手を打ったとして、人口減少を緩やかにすることはできるかもしれませんが、上昇カーブを描くことは難しいと思っております。

そうすると、こんな話をしたら職員の皆さんが気を悪くされるかもしれませんが、人口規模に合わせて職員数をどうするのという問題が起きると思います。職員数を人口規模に合わせて減らしたいとして、そうはいつでも、急激に減らせることはできないと思っております。行政サービスそのものは維持していかなければなりませんから、そういったことを見越し、スマート自治体が提唱されて、いろんな取組が行われている。既に導入されている自治体もあると聞いています。

今の話では、朝倉市は、今から考える、今考えているということです。人口ビジョンや総合戦略がつくられたのは令和元年度で、総合計画が平成30年度、ここら辺りから本当は取組を始めていなければならなかったのではないかなと私は思っているところです。この遅れを取り戻すために思い切って専門家、コンサルでも何でも結構ですから、そういった方々の力を借りるべきではないのでしょうか。スマート自治体の取組は十分取り返せると思います。大きなバックが期待できるんじゃないか、いかがでしょうかお尋ねします。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 今年度から職員で事業に取り組んでおりまして、コンサルなどの予算計上の前に、現在、さらに他の業務で導入に向けた調査研究を行っております。特に働き方改革、事務改善、予算の削減につながるものについて、可能な業務から、順次導入を進めていきたいと考えております。以上です。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 私は、今頃、調査研究するという時期ではないと言っております。職員の時間外も膨らむだけで、相当厳しい状況に置かれていると聞いていますが、もう少し前向きな回答を欲しかったです。

次に行きます。業務のスリム化、アウトソースの推進について。

次の質問、これも結局は同じです。事業をスクラップすることで、新たに取り組む新規事業をビルドする、生み出すという話を聞きましたが、必要な業務をいかにスリム化するか、それをどのように推進しているのかお尋ねします。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） 現在は、他自治体の先進事例を参考にしまして、スリム化できるものをピックアップしまして、順次対応をしております。

今後は、事務改善の視点で無駄がないかなどを検証しまして、業務担当部署とともに、いかにスリム化を図ることができるかを検証していきたいと考えております。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 私も、職員として働いていたので実感としてお話をさせていただきますが、現場に任せてスリム化を推進することは、相当これは難しいと思っております。

業務のアウトソースもそうです。本当に市の職員がやらないといけない仕事なのか、専門の業者にお任せすると何が問題なのかなんて、担当部署はプライドを持って業務に当たっていますから、そんなことは考えたくもないはずだと思います。

そういったことを推進する部署を設けて、先進事例を丹念に調べ上げ、朝倉市に合ったスリム化だったり、アウトソースだったりを検討するか、もしくはやっぱり専門家の力を借りるか。きちんとした検討体制をつくって、時間をかけずに答えを導き、早め早めに取り組を進める、それが必要なんじゃないでしょうか、お答えをお願いします。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（森山浩二君） スリム化を進めるためのことですがけれども、議員指摘のとおり、業務のスリム化につきましては、朝倉市にとって重要な施策であると認識しております。先ほども答弁しましたように、現在、RPAやAI活用の検証作業を行っております。

国においてもデジタル庁が9月に発足し、急ピッチでデジタル化が進もうとしています。朝倉市においても、デジタル化が進めば、業務のスリム化が実現できると考えますので、部署の設置も含め、乗り遅れることなく、今後も調査研究を続けていきたいと考えております。

○議長（半田雄三君） 4番熊本議員。

○4番（熊本正博君） 随分と今最後聞きましたが、調査研究したり、考えたりがお好きなようでございます。その成果が実を結ばないと経営的に大変なことになると思います。既になっているのかもしれませんが。お金も人もどこにどのように効果的に投じるのか、大胆な考え方が必要だと私は思います。

以上で私の一般質問を終わります。

○議長（半田雄三君） 4番熊本正博議員の質問は終わりました。

暫時休憩いたします。11時5分に再開いたします。

午前10時54分休憩